

文革50年 なぜ体制的総括が行われないのか

日時：2016年11月5日（土）午後2時～4時30分

場所：同志社大学 今出川キャンパス 弘風館32番教室

<アクセス> 地下鉄・市バス「烏丸今出川」下車

講師： 山本 恒人氏（大阪経済大学名誉教授）

<講演内容>今年のプロレタリア文化大革命革命勃発50周年にあたる。衝撃的歴史的事件であった文革はその後基本的に否定されたが、それが中国社会に与えた後遺症はきわめて大きい。中国社会はどう受け止め、どのように総括しているのか？ 文革評価をてがかりに中国社会の今を解明する。



<講師プロフィール> 山本 恒人（やまもと つねと）氏
北京生まれ。大阪外国語大学中国語学科・神戸大学大学院博士課程修了・経済学博士。大阪経済大学で中国経済論担当。現在、同大学名誉教授。
主著『現代中国の労働制度』（創土社、2000年）、共著『転機に立つ社会主義』など多数。



コメンテーターは、 笥 文生氏（立命館大学名誉教授）です。

参加費： 500円（会場費・資料費、会員・読者・学生は無料）

（なるべく事前にお申し込み下さい。当日参加もちろん大歓迎です。）

共催： 京都現代中国研究所（所長：横井和彦同志社大学経済学部教授）

日中友好協会京都府連合会・日中友好協会関西ブロック

（連絡・申込先）

日中友好協会京都府連 TEL 075-256-2764

FAX：075-256-2763 Email info@nichukyoto.gr.jp

京都現代中国研究所 TEL（FAX兼） 075-951-1880